

Cisco Secure Malware Analytics アプライアンス（旧 Threat Grid アプライアンス）バージョン 2.19 リリース ノート

初版：2023 年 2 月 1 日

最終更新：2024 年 4 月 19 日

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Secure Malware Analytics（旧 Threat Grid）アプライアンス バージョン 2.19.0 のリリース ノート、および既知の問題について説明します。

ユーザーマニュアル

入手可能な Cisco Secure Malware Analytics（旧 Threat Grid）アプライアンスのユーザーマニュアルを次に示します。

Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスのユーザーマニュアル

アプライアンスのユーザーマニュアルは、[シスコ Web サイトの Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスのインストールとアップグレードに関するガイドのページ](#)を参照してください。



(注) 新しいドキュメントは、[Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスの製品とサポートのページ](#)から入手できます。

バックアップに関するよくある質問

技術情報と手順については、『[Backup Notes and FAQ](#)』を参照してください。

クラスタリングの概要とよくある質問

詳細については、『[Clustering Overview and FAQ](#)』を参照してください。

更新のインストール

Cisco Secure Malware Analytics (旧 Threat Grid) アプライアンスを新しいバージョンに更新する前に、シスコ Web サイトの [Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスのインストールとアップグレードに関するガイドのページ](#) から入手できる『Appliance Setup and Configuration Guide』の説明に従って、初期設定および構成手順を完了しておく必要があります。

新しいアプライアンス：新しいアプライアンスが古いバージョンとともに出荷されていて、更新をインストールする場合は、先に初期設定を完了する必要があります。すべてのアプライアンス設定が完了するまで、更新を適用しないでください。

ライセンスがインストールされるまでアプライアンスの更新はダウンロードされず、アプライアンスが完全に設定されない限り（データベースを含む）、正しく適用されない可能性があります。

Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスの更新は、管理 UI ポータルを介して適用されません。

アップデートは一方です。より新しいバージョンにアップグレードすると、以前のバージョンに戻すことはできません。

更新をテストするには、分析用のサンプルを提出してください。

修正と更新

バージョン 2.19.0

このリリースでは、コア アプリケーション ソフトウェアが更新され、その他のさまざまな修正と機能拡張が含まれています。

- コア アプリケーション ソフトウェアが更新され、クラウドバージョン 3.5.129 に一致するようになりました。
- 起動中および設定プロセス中に誤ったエラーメッセージが表示される可能性がある軽微な問題を修正しました。
- サポートスナップショットのダウンロードに1分以上かかると失敗する問題を修正しました。
- クリーンインターフェイスとダーティインターフェイスを介した ping が tgsh で許可されるようになりました。
- Kibana (管理ポータルのダッシュボードで使用) が Grafana に置き換えられました。
- セキュリティ修正、バグ修正

既知の問題

- ファームウェアの更新は、更新プロセス中に適用できない場合があります。これが発生した場合、これらの更新は再設定が正常に実行された後のリブートプロセス時に再試行されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。